

## 出題の意図 (R7 法学部・小論文)

### 大問 1

問 1 は、功績によらない生来の経済的格差を矯正する必要はないという筆者の主張を指摘したうえで、筆者がそのような主張に至った理由を課題文から読み取り、的確にまとめることができるかどうかを問うものである。

問 2 は、相続制度は前国家的自然権から導かれるものではないという筆者の主張の核心部分を押さえつつ、相続制度の存廃に関する筆者の結論を的確にまとめることができるかどうかを問うものである。

### 大問 2

問 1 は、課題文にいう「シルバー民主主義がもたらす問題」の内容を、正しく理解し、同問題の主旨を的確にまとめることができるかどうかを問うものである。

問 2 は、筆者が、課題文の目的とするところの「一人一票の原則を疑う」ということについて、どのような理由から一人一票の原則が必ずしも自明のことではないという考えに至ったのかを、正しく理解し、的確にまとめることができるかどうかを問うものである。